

いじめのサインを見逃さないためのチェックリスト(家庭編)

家庭で「おや？」と思うことはありませんか？

<input type="checkbox"/> 表情がさえず笑顔が見られなくなる。 <input type="checkbox"/> 食欲が急に落ちる。 <input type="checkbox"/> ちょっとしたことでも怒ったりイライラしたりするようになる。
<input type="checkbox"/> 学校や友だちの話題を避けるようになる。 <input type="checkbox"/> 部活動をやめたい、学級をかわりたい、転校したいなどと話すようになる。
<input type="checkbox"/> 登校をしづむようになる。理由がはっきりしない。
<input type="checkbox"/> 友だちからの電話に出たがらない、おびえる。 <input type="checkbox"/> 無言電話、不審電話がかかる。 <input type="checkbox"/> つきあう友だちが急に変わり、呼び出しが多くなる。 <input type="checkbox"/> 遊びに出たがらない。 <input type="checkbox"/> 帰りが遅くなったり、理由も言わずに外出する。
<input type="checkbox"/> 刃物や危険な物を持ち歩くようになる。
<input type="checkbox"/> 家庭からお金を持ち出したり必要以上に小遣いを求めたりする。 <input type="checkbox"/> 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れ、打撲や切り傷などがみられる。
<input type="checkbox"/> 楽しんでいたことに興味を示さなくなる。
<input type="checkbox"/> 部屋に閉じこもったり、家族と一緒に食事をとりたがらないようになったりする。
<input type="checkbox"/> 死や非現実的なことに関する情報に関心を持つようになる。

いじめにより、子どもは自己表現、問題解決や判断が難しくなってきます。周囲の大人による早期発見や早期対応、温かい支えが必要です。

- 「気のせいではないか？」「あなたにも悪いところがあるのでは？」「もうちょっとがんばっては？」など否定的に受けとめるのではなく、また、できるだけ口をはさまず、じっくりと話を聞いてあげましょう。
- あなたは大切な存在だ、どんなことがあってもあなたの味方である親としての強い意志をしっかりと伝え安心感を与えましょう。
- 小さな変化でも学校にすみやかに相談しましょう。電話や手紙よりも、先生と直接話し合うことが大切です。学級担任以外にも、学年主任、養護教諭、教育相談担当、生徒指導担当、管理職など誰にでも相談できます。
- いじめていた子どもの保護者とは、学校と相談しながらかわります。
- 学校に相談しにくい場合には、相談機関に相談しましょう。